

下甲介粘膜焼灼術（CO2レーザーによる）についての説明と同意書

新田耳鼻咽喉科

下甲介粘膜焼灼術（CO2レーザーによる）はあなたの現在の病気を治療するのに適当な選択であると考えられます。ただし手術には危険や後遺症もあるため 手術をお受けになるご本人の十分な理解が必要です。そのため 以下の項目を説明させていただき 内容をご理解頂いたうえでご署名をいただきます。

手術名 下甲介粘膜焼灼術（CO2レーザーによる）

目的 アレルギー性鼻炎の鼻閉、鼻汁、くしゃみの改善のため

手術の必要性

内服治療（抗アレルギー剤、ロイコトルエン拮抗薬） 外用薬（ステロイド、抗アレルギー剤のスプレー）など保存的治療により十分な改善がえられていないため

手術の方法

キシロカイン（麻酔液）とボスミン（血管収縮薬）をひたしたガーゼを鼻内に挿入し局所麻酔します。次に CO2 レーザーによる下甲介粘膜焼灼術を行います。

歯科などの局所麻酔の経験 有り 無し

ありと答えられた方は 局所麻酔により ショック、悪心などはありましたか？

有り 無し

予想される合併症

局所麻酔によりまれにショック、心拍数の増加を起こす可能性があります。また術後 焼灼した粘膜の浮腫により 一時的に鼻閉が増悪することがあります。鼻内のかさぶたを除去する鼻処置のため通院が必要になることがあります。十分な鼻処置を行わなければ鼻粘膜、鼻甲介の癒着を生じることがあります。

経過により抗生剤の内服が必要になることがあります。内服に伴い薬剤性ショックを起こす可能性があります。

鼻閉に対する有効率は約 8 割、くしゃみ、鼻汁に対する有効率は約 7 割です。花粉症の方は年に 1 度の焼灼が推奨されています。通常 2, 3 年の効果が期待されますが、アレルギーの程度、鼻内の状態により前後します。

新田耳鼻咽喉科 新田健太郎

私の手術に関して 以上の事柄いずれについても十分な説明を受け同意いたしました。

平成 年 月 日

氏名

保護者氏名